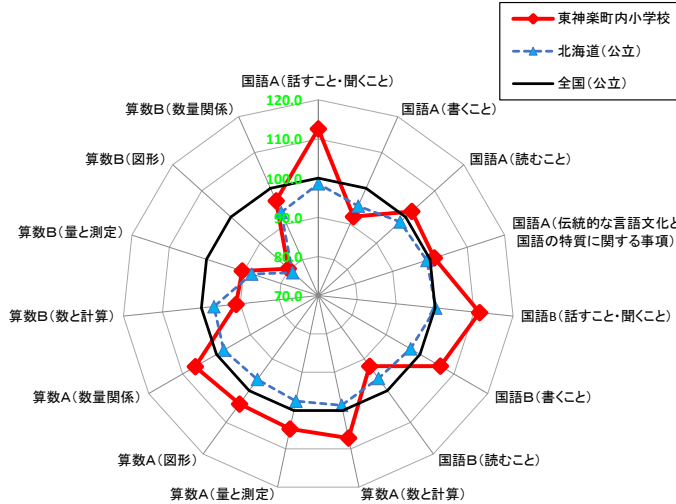


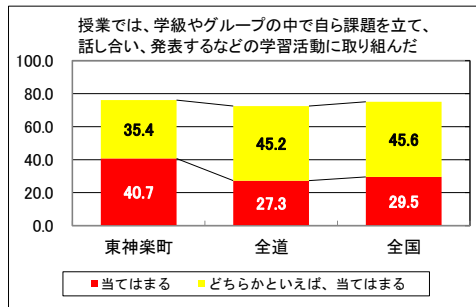
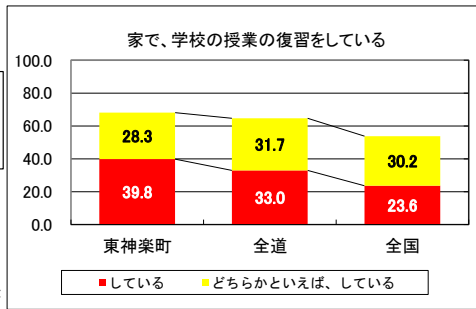
東神楽町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:113人)

【教科全体の状況】

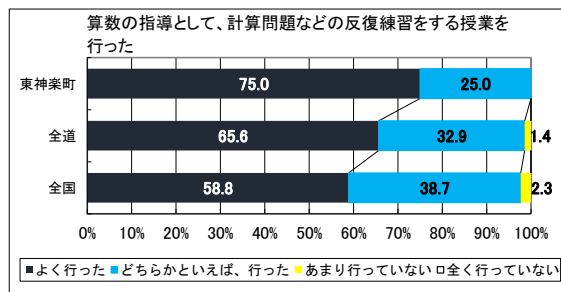
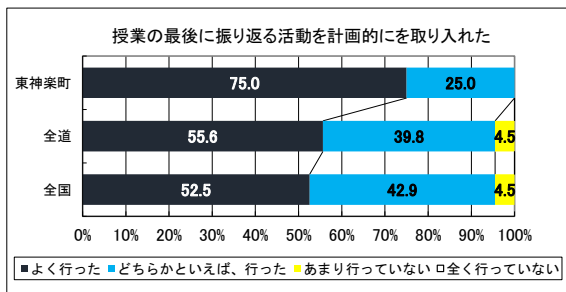
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、すべての領域で全国を上回り、Bでは、「数量関係」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、話し合ったり発表したりする活動などを計画的に行ったことにより、学習内容の定着が図られ、国語A・Bの「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んだ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業と関連付けた宿題を与えるなど、学習習慣の定着を図る取組を行ったことにより、学力が向上したと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の授業において、計算問題などの反復練習を行い、児童が基礎的・基本的な知識や技能を身に付けたことにより、算数Aのすべての領域で全国を上回ったと考えられる。

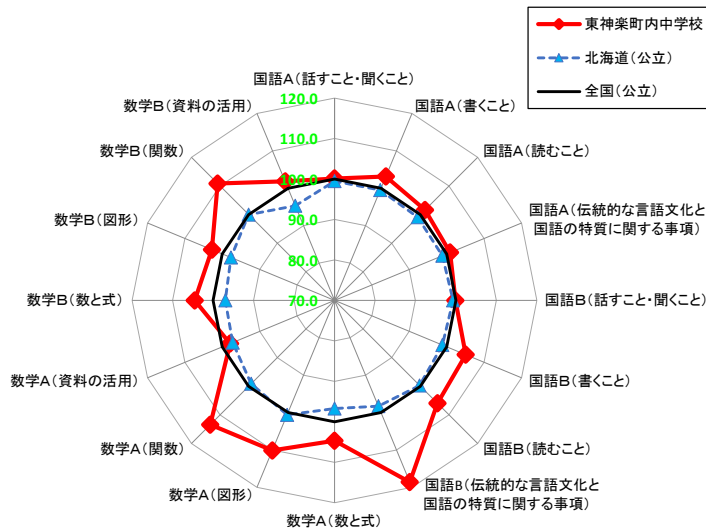
【東神楽町の学力向上策】

- ◎ 特色ある教育や確かな学力を育むための取組の推進に向けた指導主事の配置によるきめ細かい指導の充実
- ◎ 小中連携から一貫へと9年間を見据えた教育の充実に向けた取組の推進
- ◎ 各学校の状況や規模に応じた習熟度別学習の実践及び加配教員や支援員などの確保による個に応じた指導の充実

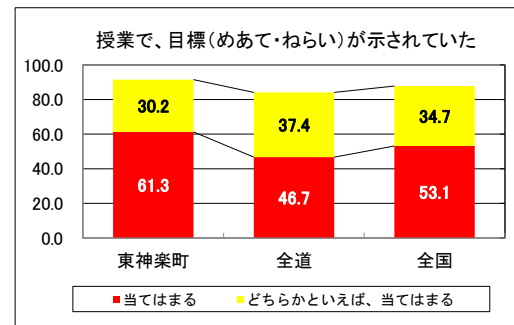
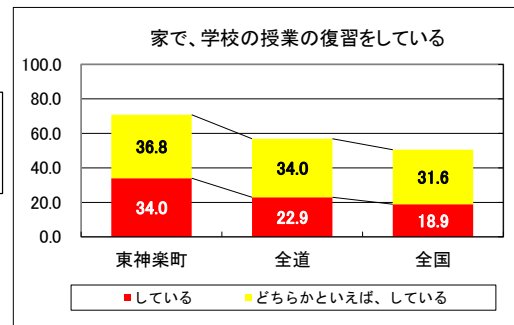
東神楽町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:106人)

【教科全体の状況】

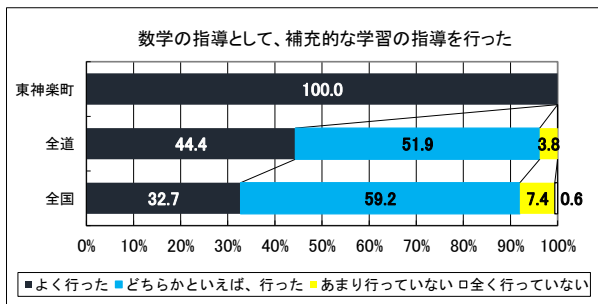
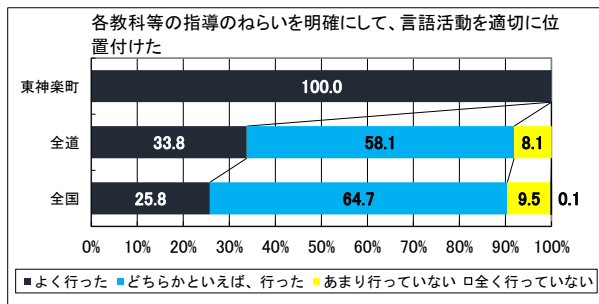
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、すべての領域、Bでは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「数と式」「図形」「関数」、Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭で、学校の授業の復習を行うよう指導するなど、学習習慣の定着に向けた取組を充実したことにより、学習内容の定着が図られ、国語及び数学の14領域で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業で、目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科等の指導のねらいを明確にして、言語活動を適切に位置付けたことにより、授業改善が図られ、国語の7領域で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科等の指導のねらいを明確にして、言語活動を適切に位置付けた。 ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、学習内容の定着が図られ、数学Aの「図形」などの7領域で全国を上回ったと考えられる。

【東神楽町の学力向上策】

- ◎ 特色ある教育や確かな学力を育むための取組の推進に向けた指導主事の配置によるきめ細かい指導の充実
- ◎ 小中連携から一貫へと9年間を見据えた教育の充実に向けた取組の推進
- ◎ 各学校の状況や規模に応じた習熟度別学習の実践及び加配教員や支援員などの確保による個に応じた指導の充実